



ESSAY 院長エッセイ

医療法人社団光風会 三光病院
院長 海野 順

厳しい暑さが続く今年の夏、心身に疲れを感じていませんか。三光病院では、夏休み期間中、応急処置について楽しく体験学習する「子どもメディカルラリー」や、ネット・ゲーム依存傾向をもつ青少年を対象とした「S-NIP OFFLINE CAMP」を開催し、地域とともに活動しています。こうした取り組みには、こころのケアにも「応急処置」の方法論があること、そして一人で悩みを抱えず、誰かと一緒に解決することの大切さを伝える狙いがあります。心臓マッサージやAEDの使い方を学ぶように、私たちは「サイコロジカル・ファースト・エイド」の普及に力を入れて参りました。こころのサポートを担う専門機関として、どなたでもお気軽に相談して頂ける場でありたいと願っています。地域の安心の一部となれるように、これからも皆さまと歩んでまいります。

E V E N T

近日のイベント

8月

- ・S-NIP OFFLINE CAMP 2025
メインキャンプ(8/17~8/23)
- ・デイケア夏祭り(8/27)



9月

- ・デイケアお楽しみ会(9/24)
- ・第13回うみのみえるカフェ(9/25)



10月

- ・三光オータムフェスタ(10/12)
- ・デイケアミニミニ運動会(10/29)

行事予定は変更になることがあります。

広がる関連施設

光風会は、ネットワークの輪を広げ、総合的にケアができるよう発展し続けています。医療と福祉、病院と家庭と地域を結ぶ光風会ならではの宿泊型・通所型の自立訓練事業と就労継続支援B型訓練の多機能型事業、相談支援事業と地域活動支援センター事業、介護医療院などを展開しています。



電雲メンタルクリニック

サテライトクリニック



コリーナ 介護医療院



ピッコリーナ

児童発達支援・放課後等
デイサービス



牟原寮

自立訓練事業
就労継続支援B型事業所
infiniアンフィニ



クリマ

地域活動支援センター



プレスマン

高齢者グループホーム

お問い合わせ



〒761-0123 香川県高松市牟礼町原883-1

TEL 087-845-3301 FAX 087-845-6822

▶認知症疾患医療センター専用ダイヤル

TEL 087-816-2170



最新のお知らせ
など詳しい内容
はHPで掲載して
います。



LINEでは認知症
にまつわるお役
立ち情報を発信
しております。

アクセス

車でのお越しの方

- 西から(愛媛方面)
高松自動車道 高松東インターより
42号線を東へ、38号線を北上
- 東から(徳島方面)
高松自動車道 さぬき三木インターより
38号線を北上 約7km

電車でお越しの方

- JR高徳線
「讃岐牟礼駅」下車 徒歩約10分
- ことでん志度線
「八栗新道駅」下車 徒歩約10分



SEA LIGHT

医療法人社団光風会 三光病院 広報誌



【特集】

小学生36名が参加した 第2回さぬき子どもメディカルラリー

【OTHER CONTENTS】

▶NEWS & TOPICS

修正型電気けいれん療法(mECT) デイ・ケア リニューアル!

▶REPORT

第24回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技中国・四国ブロック予選会 ほか

2025
August
vol. 03



第2回さぬき子どもメディカルラリー in イオンモール高松



正しい知識が未来を守る力になる
こどもたちが挑む!救命体験

夏休みが始まり最初の日曜日である7月27日(日)、第2回さぬき子どもメディカルラリーがイオンモール高松で開催されました。うれしいことに今年もたくさんのご応募をいただき、小学3年生から小学6年生の総勢36名にご参加いただきました。3人1組のチームを組んで、AEDを用いた心肺蘇生法や、骨折や止血などの外傷処置、災害時の仮設トイレの作成や、伝言用ダイヤルへの登録など、実際の緊急時に役立つ知識を学びながら、必要な行動を速やかにとれるか評価し採点しました。

また、三光病院ならではのステーションとして、アルコール依存症を知っていただく心理劇(サイコドラマ)もご用意しました。

お酒を勧める「ヨッパー」をアディクション仮面が倒すのを、ボールゲームを用いながら応援するという体験を通じ、こどもたちは楽しみながら依存症への理解を深めていました。

開会式では高松市役所吹奏楽団の皆さまにご協力いただき、「アンパンマンのマーチ」を胸骨圧迫に適したテンポ(1分間に100回)で演奏。そのリズムに合わせて、スタッフが心肺蘇生訓練人形を使って胸骨圧迫を披露し、こどもたちも楽しく救命処置を学ぶことができました。



競技中はどのチームも力を合わせ、勉強した知識を活かし真剣に救護活動に取り組めました。実際に救急現場や災害現場に遭遇した時、大人でも足がすくむもの。「大丈夫ですか?」の一言で救われる人がある、正しい知識は自分自身や周りの人を守る力になる。このメディカルラリーでの経験が、こどもたちにとって「いざという時一歩踏み出す勇気」となればと願っています。今後も三光病院では、こどもたちに適切な救命処置を身につけると同時に困難な状況でも立ち向かう勇気を育めるよう「子どもメディカルラリー」の輪を広げていきます。

REPORT

三光病院では定期的な出張や社会貢献活動に力を入れ、職員のスキルアップに努めています。

仲間と共に掴んだ、忘れられない1勝

2025年6月21日(土)~22日(日)、山口県の維新大晃アリーナで行われた第24回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技中国・四国ブロック予選会に出場してきました。この大会は10月に滋賀で開催される全国障害者スポーツ大会の中国四国代表チーム(1チーム)を決める大会で香川県代表として挑みました。

昨年は初戦で敗退したこともあり「まず1セットとること」「楽しむこと」を目標に練習を重ね、本番に臨みました。試合序盤は緊張もありましたが、コートに立つとチーム内で声を掛け合いボールをつなぎ見事初戦を突破することができました。

翌日行われた準決勝では、強豪チームに惜しくも敗戦。それでも気持ちを切り替えて臨んだ3位決定戦では前回優勝チームから1セット先取する大健闘のプレーを見せ、昨年を上回る成績を収めることが出来ました。1セット先取した瞬間は飛び上がって喜びました。あの瞬間の興奮と達成感はきっとこの先も忘れられません。

結果として表彰台には届きませんでしたが、中四国で4位という予想以上の結果となりました。この成果はチームが努力した結果であり格別な達成感を味わうことができました。勝ち負けだけではない、チームで励まし合いや挑戦を楽しむ心、最後まで諦めずに挑む強さをスポーツから学び、この経験こそが何よりも価値のあるものとなりました。

この経験を糧に仲間と共に成長し、来年さらに強くなった姿をお見せしたいと思います。応援よろしく願いいたします。



●スポーツを継続することで体の健康や心の成長、仲間とのつながりが生まれ人生を豊かにします。デイケアではスポーツプログラムを多く取り入れています。

NEWS & TOPICS

修正型電気けいれん療法(mECT)

当院では、うつ病などに対する新たな治療法として、修正型電気けいれん療法(mECT)を導入しています。薬物療法での改善が難しい方にも効果が期待できる、安全性の高い治療法です。



デイ・ケア リニューアル!

高齢者向けデイ・ケアがリニューアルして、COMOREBIと命名されました。いつまでも若々しく健康で過ごしたいという想いに応えられるよう、COMOREBIでは『適度な運動』『バランスの良い食事』『心身に良い休養』の3要素が揃ったプログラムを実施しています。

